

品質で選べば
朝日フェンス

朝日目かくし遮音フェンス

目かくし遮音

WIRE NET & FENCE



朝日スチール工業株式会社

<https://www.asahi-fence.co.jp>



朝日目かくし遮音フェンスは

プライバシー保護の目かくし機能に、騒音を低減する遮音機能をプラスしたフェンスです。
心地よい生活空間をすぐれた品質でサポートします。



AM-1940-SH(勾配)(XNブラインド)

Contents

朝日目かくし 遮音フェンス

仕様・特長		3
GM型	GGタイプ ◇角パイプ柱	5
GM型	GEタイプ ◇角パイプ柱	7
XW型	一般タイプ ○丸パイプ柱	9
AM型	強力タイプ ◇角パイプ柱	11
アルミ目かくし遮音フェンス		13



目かくし遮音

GM-2860(GGパネル)



ALM1600(SGパネル) 2



朝日目かくし遮音フェンスは、プライバシー保護の目かくし機能に騒音を低減させる遮音機能をプラスしたフェンスです。

1. フェンス設置に依る遮音効果確認試験



試験風景

測定方法: 図1に示した配置図の通り、屋外においてフェンスを設置していない状態とフェンス(5スパン)を設置した状態での測定結果の差をフェンス設置による遮音効果として算出した。

測定場所: 弊社屋外試験場

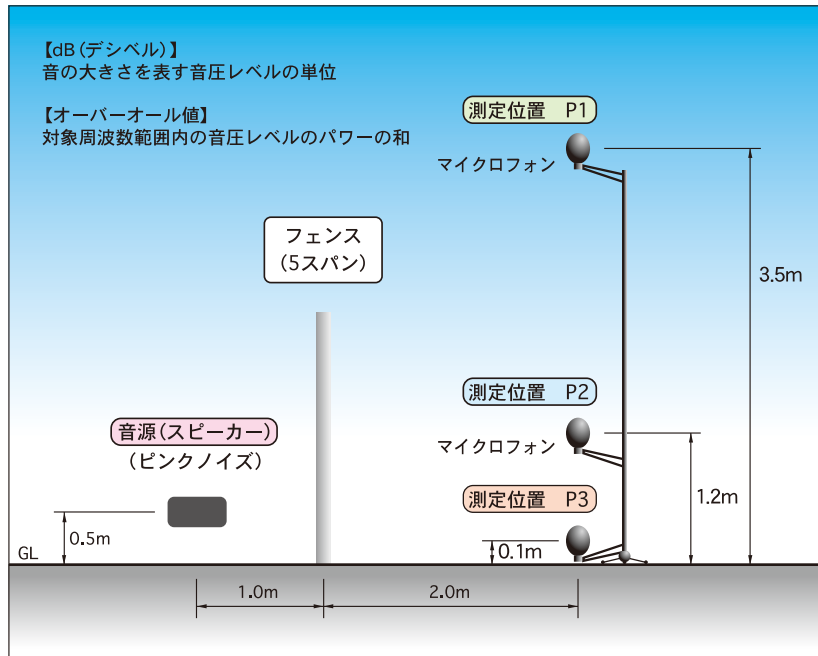


図1 音源とフェンスおよびマイクロフォンの配置

表1 フェンス設置に依る遮音効果

ブラインド・パネル	規格	測定位置	フェンス設置前 オーバーオール値[dB]	フェンス設置後 オーバーオール値[dB]	遮音効果[dB]
GGパネル	GM-1910-GG	P1	75	68	7
		P2	81	65	16
		P3	84	66	18
GEパネル	GM-1910-GE	P1	75	69	6
		P2	81	70	11
		P3	85	71	14
XNブラインド	AM-1940-SH	P1	75	70	5
		P2	81	72	9
		P3	84	71	13
SGパネル	ALM-2000-SG	P1	75	67	8
		P2	81	64	17
		P3	85	65	20

・AM-1940-SHは下部隙間15mmの測定値です。(下部隙間をより小さくすると、遮音効果の向上が期待できます。)

・記載の数値は試験時のデータです。現地設置時の遮音効果を保証する値ではありません。

2. 音響透過損失試験

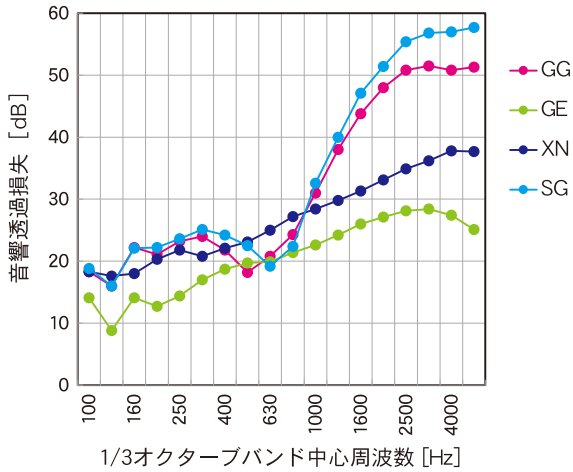


図2 音響透過損失グラフ

音響透過損失(パネルそのものの遮音性能)

測定方法: JIS A1416「実験室における建築部材の空気音遮断性能の測定方法」に準拠
測定場所: 公的試験機関

表2 音の感じ方

音圧レベル差 [dB]	音のエネルギー	感じ方
3	1/2	かろうじて差が判る
5	1/3	はっきりと差が判る
10	1/10	半分ぐらいに感じる
20	1/100	大差があると判る

【dB(デシベル)】音の大きさを表す音圧レベルの単位

表3 一般的な騒音レベル例

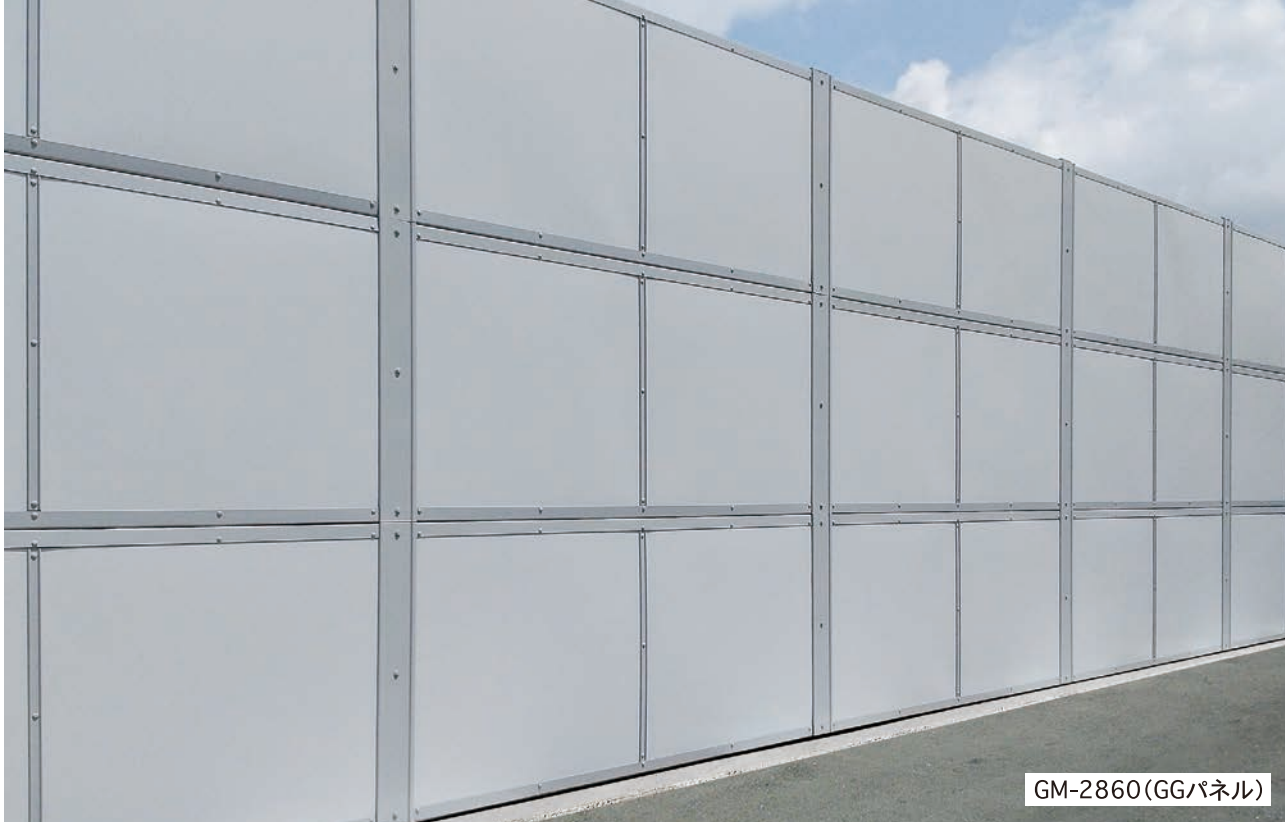
騒音レベル [dB]	身近な騒音	うるささの程度
120	・飛行機のエンジンの近く	聴力機能障害
110	・自動車の警笛(前方2m) ・リベット打ち	
100	・電車が通る時のガード下	
90	・大声による独唱 ・騒々しい工場の中	極めてうるさい
80	・地下鉄の車内 ・電車の車内	
70	・電話のベル ・騒々しい事務所の中	うるさい
60	・静かな乗用車 ・通常の会話	
50	・静かな事務室	日常生活で望ましい範囲
40	・市内の深夜 ・静かな住宅地の昼 ・図書館	
30	・郊外の深夜 ・ささやき声	静か
20	・木の葉のふれ合う音 ・置き時計の秒針の音(前方1m)	





遮音パネルには制震効果のあるポリエチレンフォームを塗装溶融2%マグネシウム添加55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板で挟み込んだ3重構造。高い遮音性能と防錆力を発揮します。

門扉も製作できます。お問い合わせください。



GM-2860(GGパネル)

風圧力での設計製品です。(昭和57年改正の建築基準法・同施行令の計算基準に従っています。) 地盤面に設置する場合を基準にしていますので、**地盤面より高い場所**に設置する場合にはお問い合わせください。

カラー 柱・胴縁・縦枠 標準色

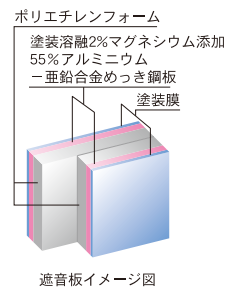


※表示の色は印刷のため、実際の色とは若干異なります。

パネル板 標準色



※表示の色は印刷のため、実際の色とは若干異なります。
※柱・胴縁・縦枠とパネル板の色は異なります。
※防汚・熱反射について従来材と比較した機能の向上を製品特長としてうたったものであり、機能(遮熱・防汚)を保证するものではありません。



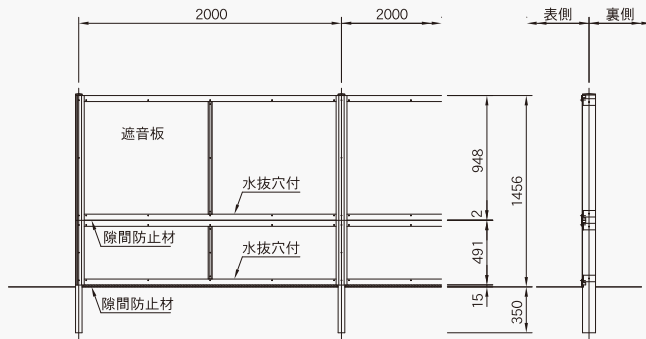
遮音板イメージ図

規格・寸法・参考基礎 (沖縄地区は除く。)

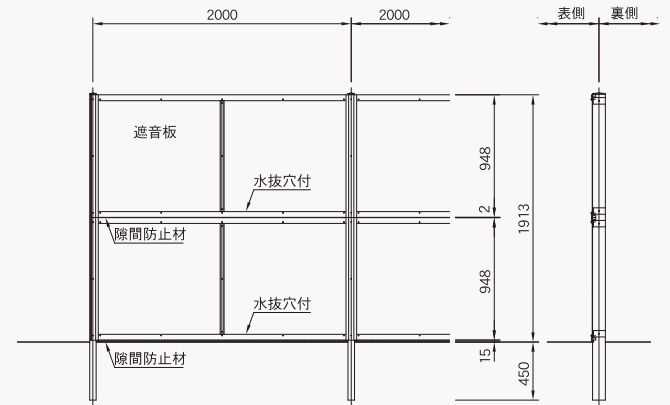
呼称	寸法	高さ (mm)	主 柱 (mm)			パネル幅 (mm)	単位質量 (kg/m)	参考基礎寸法 (mm)
			規格・寸法	埋込	支柱間隔			
GM-1450-GG		1456	□100×50×3.2×1816	350	2000	948+491	35.5	350×350×600
GM-1910-GG		1913	□100×50×3.2×2373	450	2000	948+948	43.0	450×450×700
GM-2400-GG		2406	□100×50×3.2×2866	450	2000	948+948+491	56.8	550×550×800
GM-2860-GG		2863	□100×100×3.2×3378	500	2050	948+948+948	67.8	650×650×900

※地耐力98kN/m²[10t/m²](長期)の場合のコンクリート打ちの参考基礎寸法です。地耐力が異なる場合は弊社までご相談ください。
※布基礎についてはお問い合わせください。
※上記基礎寸法は、昭和57年改正の建築基準法・同施行令の計算基準による地盤面に設置する場合です。**地盤面より高い場所**に設置する場合にはお問い合わせください。
※ご使用前に裏表紙の『▲注意』の項目をご覧ください。

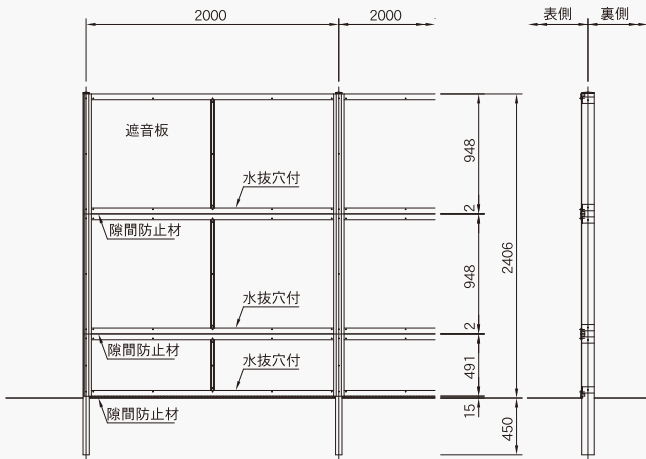
GM-1450-GG



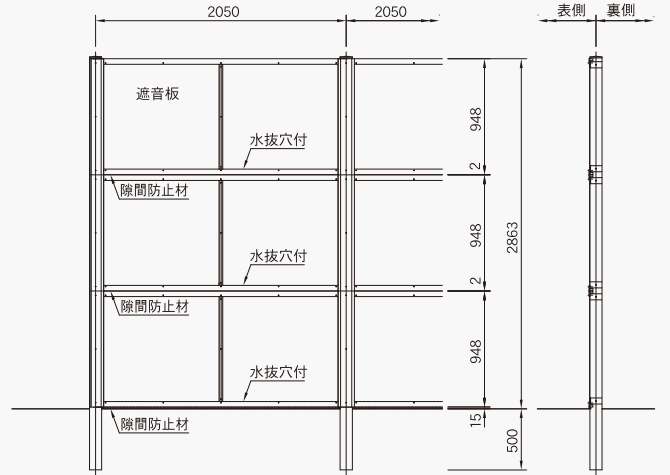
GM-1910-GG



GM-2400-GG



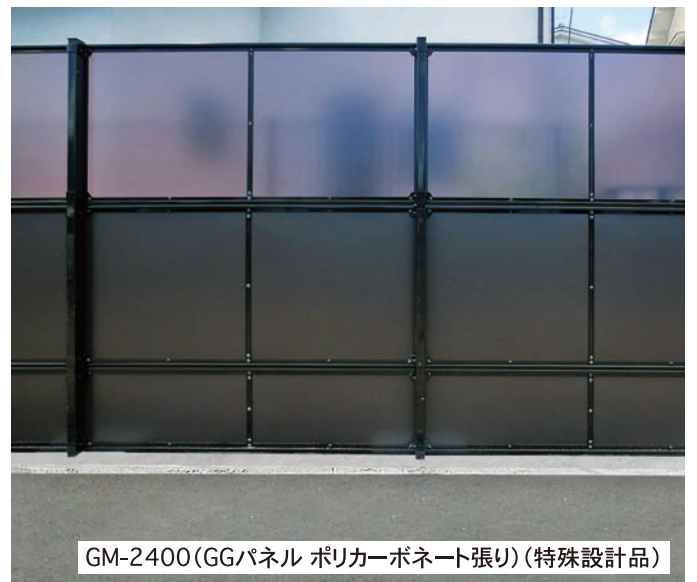
GM-2860-GG



※パネル上下間および下部隙間には隙間防止材が必要です。
 ※各規格の寸法、参考基礎寸法は下記の表を参照ください。
 ※詳細については別刷標準図集を参照ください。



GM-2860 (GGパネル)



GM-2400 (GGパネル ポリカーボネート張り) (特殊設計品)



遮音パネルにはアルミ積層複合板を採用。3重構造タイプと比較して約25%の軽量化に成功、高い施工性とコストパフォーマンスを発揮します。

門扉も製作できます。お問い合わせください。



GM-1910(GEパネル)

風圧力での設計製品です。(昭和57年改正の建築基準法・同施行令の計算基準に従っています。) 地盤面に設置する場合を基準にしていますので、**地盤面より高い場所**に設置する場合にはお問い合わせください。

カラー 柱・胴縁・縦枠 標準色

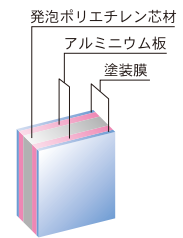


※表示の色は印刷のため、実際の色とは若干異なります。

パネル板 標準色



※表示の色は印刷のため、実際の色とは若干異なります。
※柱・胴縁・縦枠とパネル板の色は異なります。



遮音板(アルミ積層複合板)イメージ図

規格・寸法・参考基礎 (沖縄地区は除く。)

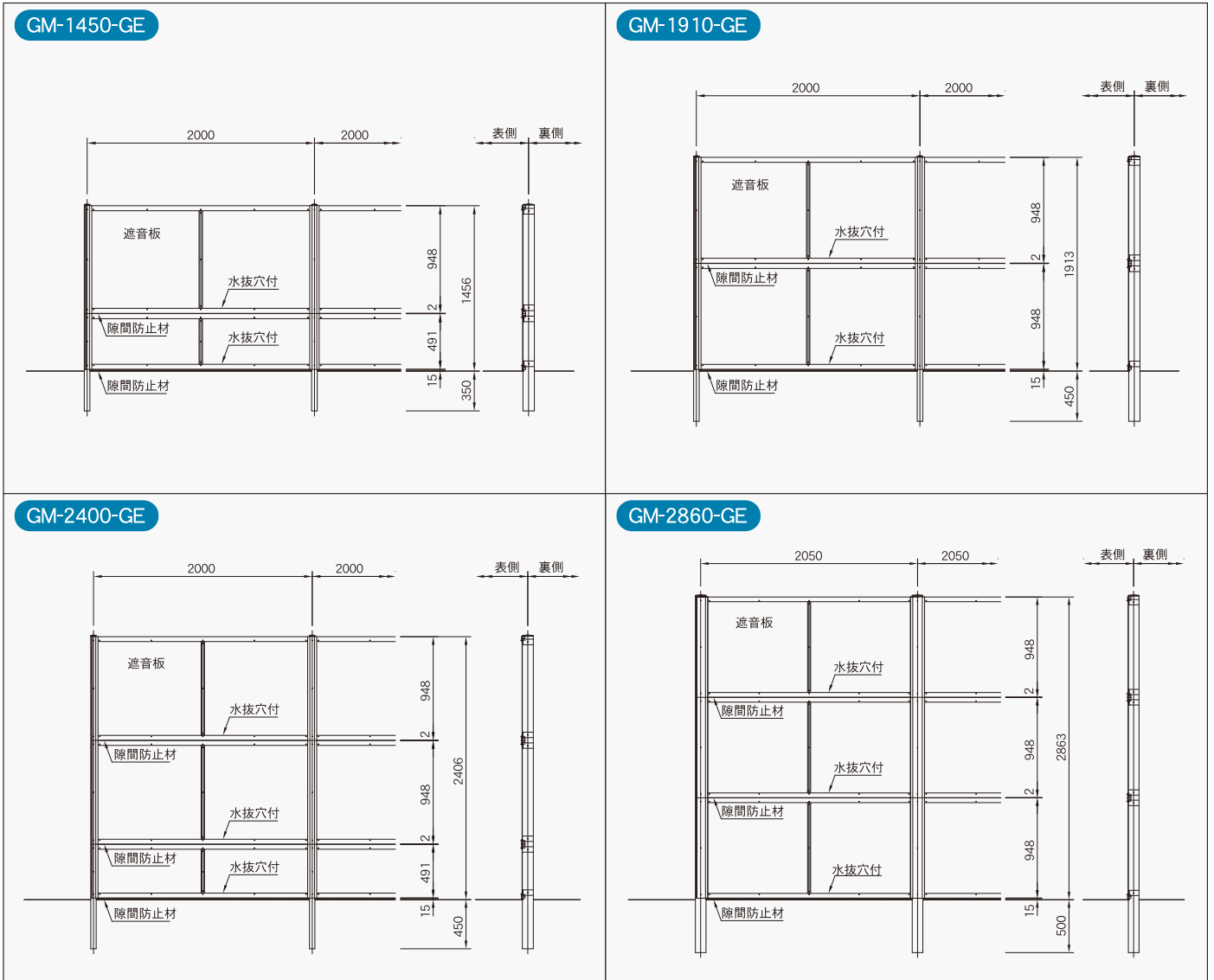
呼称	寸法	高さ (mm)	主 柱 (mm)			パネル幅 (mm)	単位質量 (kg/m)	参考基礎寸法 (mm)
			規格・寸法	埋込	支柱間隔			
GM-1450-GE		1456	□100×50×3.2×1816	350	2000	948+491	26.5	350×350×600
GM-1910-GE		1913	□100×50×3.2×2373	450	2000	948+948	31.0	450×450×700
GM-2400-GE		2406	□100×50×3.2×2866	450	2000	948+948+491	41.8	550×550×800
GM-2860-GE		2863	□100×100×3.2×3378	500	2050	948+948+948	49.8	650×650×900

※地耐力98kN/m²[10t/m²](長期)の場合のコンクリート打ちの参考基礎寸法です。地耐力が異なる場合は弊社までご相談ください。

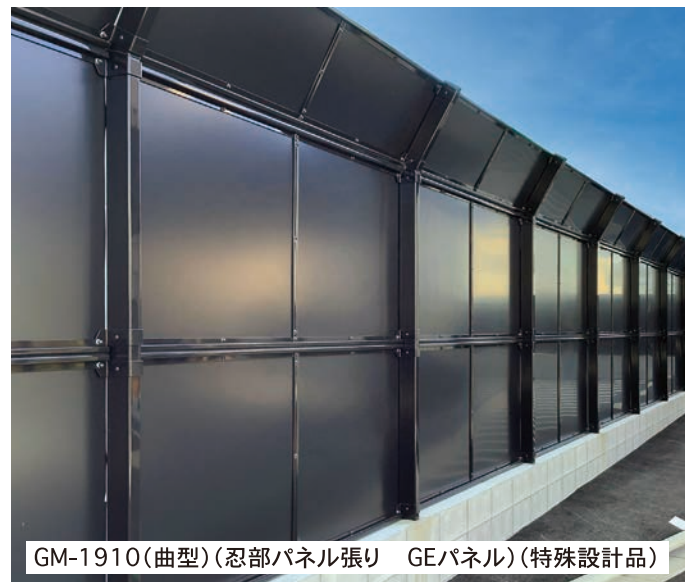
※布基礎についてはお問い合わせください。

※上記基礎寸法は、昭和57年改正の建築基準法・同施行令の計算基準による地盤面に設置する場合です。**地盤面より高い場所**に設置する場合にはお問い合わせください。

※ご使用前に裏表紙の『注意』の項目をご覧ください。



※パネル上下間および下部隙間には隙間防止材が必要です。
 ※各規格の寸法、参考基礎寸法は下記の表を参照ください。
 ※詳細については別刷標準図集を参照ください。





目かくし機能に遮音性をプラスした、XNブラインドを採用。

門扉も製作できます。お問い合わせください。



XW-1740-SH(XNブラインド)

風圧力での設計製品です。(昭和57年改正の建築基準法・同施行令の計算基準に従っています。)
地盤面に設置する場合を基準にしていますので、**地盤面より高い場所**に設置する場合にはお問い合わせください。

カラー 標準色

下記以外の塗装色については
お問い合わせください。



ホワイト



グレー



グレー
ベージュ



ダーク
ブラウン



サテンブラック
(低光沢)

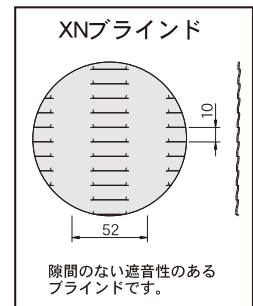
受注生産色

NEW



サテンオリーブ
(低光沢)

※表示の色は印刷のため、実際の色とは若干異なります。



規格・寸法・参考基礎 (沖縄地区は除く。)

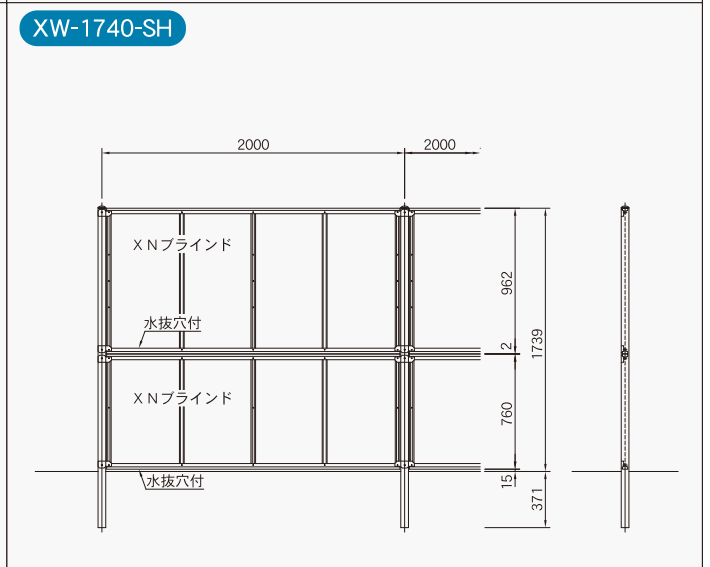
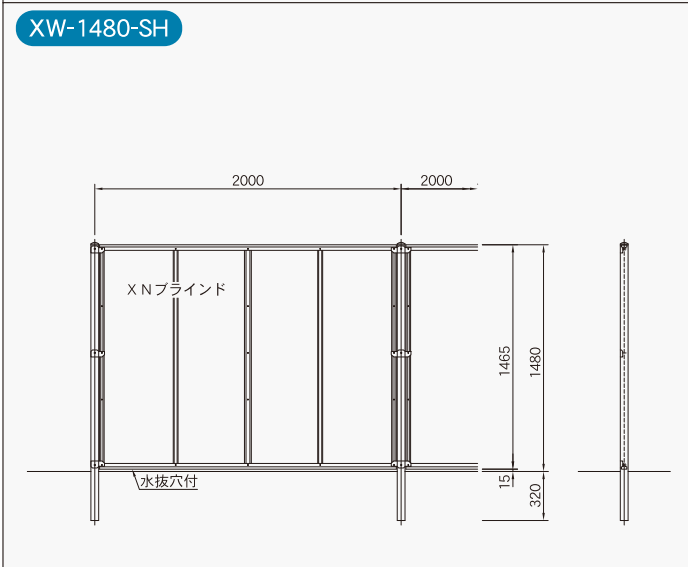
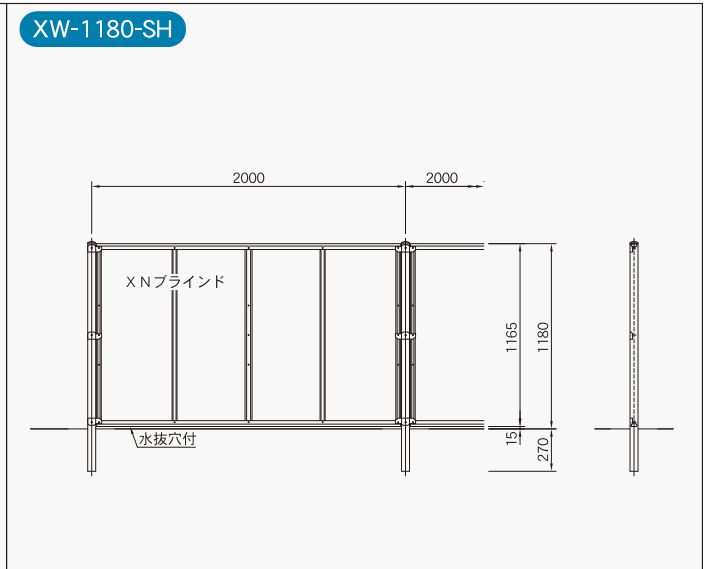
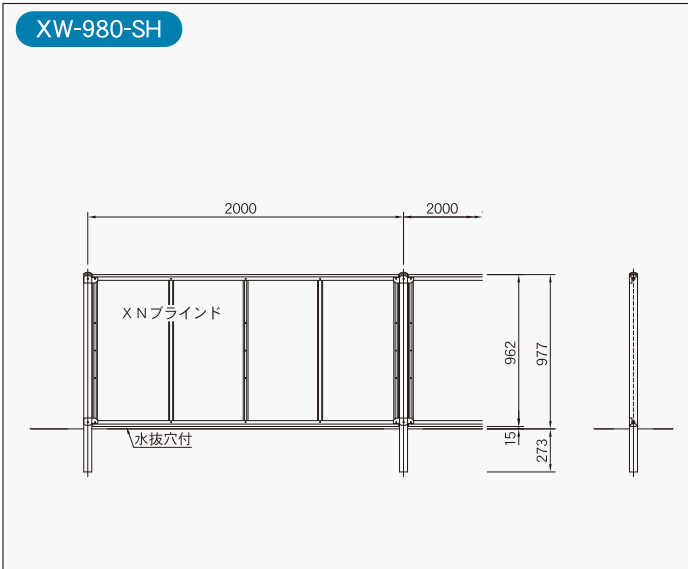
呼称	寸法	高さ (mm)	主 柱(mm)			パネル幅 (mm)	単位質量 (kg/m)	参考基礎寸法 (mm)
			規格・寸法	埋込	支柱間隔			
XW-980-SH		977	Φ50.8×2.3×1255	273	2000	962	10.6	250×250×500
XW-1180-SH		1180	Φ50.8×2.3×1455	270	2000	1165	12.7	300×300×600
XW-1480-SH		1480	Φ50.8×2.3×1805(補強入り)	320	2000	1465	16.5	400×400×600
XW-1740-SH		1739	Φ50.8×2.3×2115(補強入り)	371	2000	962+760	19.9	400×400×750

※地耐力98kN/m²[10t/m²](長期)の場合のコンクリート打ちの参考基礎寸法です。地耐力が異なる場合は弊社までご相談ください。

※布基礎についてはお問い合わせください。

※上記基礎寸法は、昭和57年改正の建築基準法・同施行令の計算基準による地盤面に設置する場合です。**地盤面より高い場所**に設置する場合にはお問い合わせください。

※ご使用前に裏表紙の『▲注意』の項目をご覧ください。



※各規格の寸法、参考基礎寸法は下記の表を参照ください。
 ※詳細については別刷標準図集を参照ください。





目かくし機能に遮音性をプラスした、XNブラインドを採用。

門扉も製作できます。お問い合わせください。



AM-1940-SH(XNブラインド)

風圧力での設計製品です。(昭和57年改正の建築基準法・同施行令の計算基準による地盤面より高い場所に設置する場合) 地盤面より2m以上高い場所に設置する場合はお問い合わせください。

カラー 標準色

下記以外の塗装色については
お問い合わせください。



ホワイト



グレー



グレー
ベージュ



ダーク
ブラウン



サテンブラック
(低光沢)

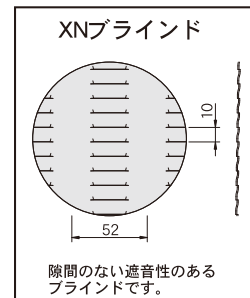
受注生産色

NEW



サテンオリーブ
(低光沢)

※表示の色は印刷のため、実際の色とは若干異なります。



規格・寸法・参考基礎 (沖縄地区は除く。)

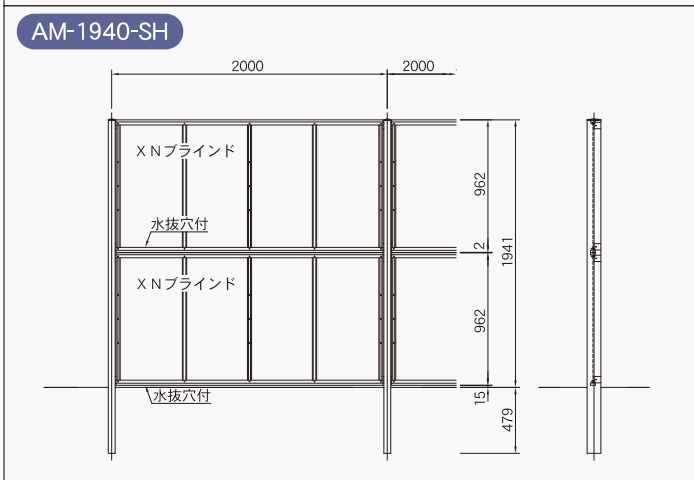
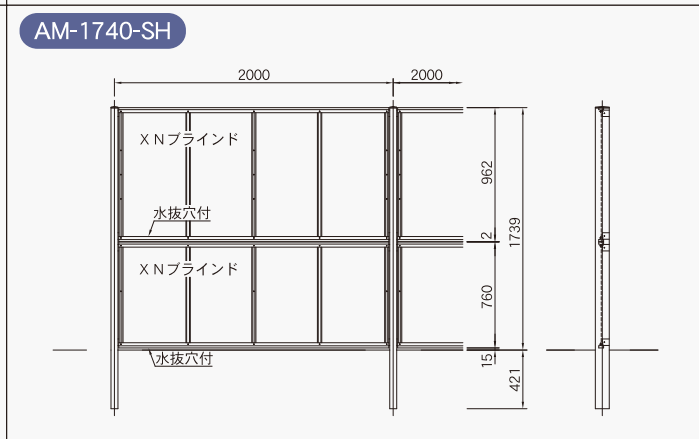
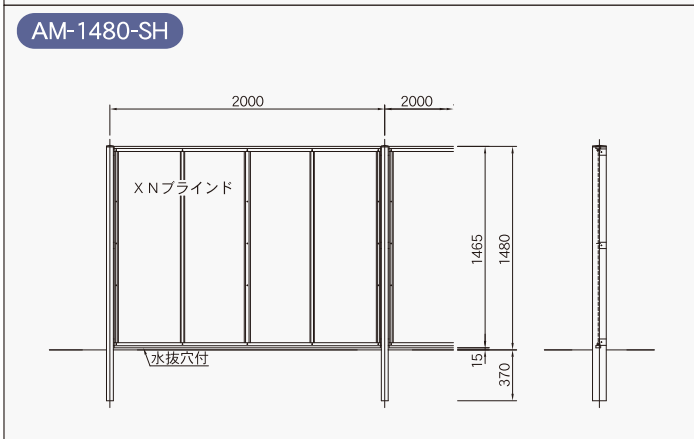
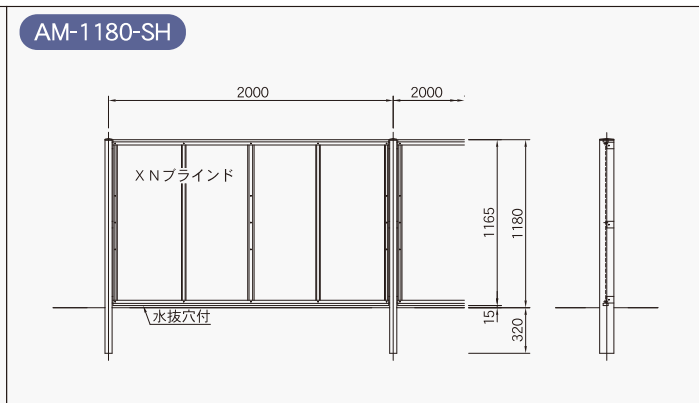
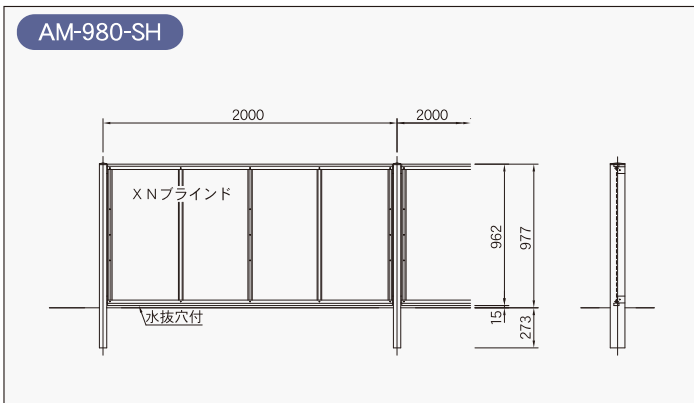
呼称	寸法	高さ (mm)	主 柱 (mm)			パネル幅 (mm)	単位質量 (kg/m)	参考基礎寸法 (mm)
			規格・寸法	埋込	支柱間隔			
AM-980-SH		977	□100×50×2.3×1255	273	2000	962	12.3	250×250×500
AM-1180-SH		1180	□100×50×2.3×1505	320	2000	1165	14.9	300×300×600
AM-1480-SH		1480	□100×50×2.3×1855	370	2000	1465	17.9	400×400×600
AM-1740-SH		1739	□100×50×2.3×2165	421	2000	962+760	22.4	400×400×750
AM-1940-SH		1941	□100×50×3.2×2425	479	2000	962+962	26.7	500×500×700

※地耐力98kN/m²[10t/m²](長期)の場合のコンクリート打ちの参考基礎寸法です。地耐力が異なる場合は弊社までご相談ください。

※布基礎についてはお問い合わせください。

※上記基礎寸法は、昭和57年改正の建築基準法・同施行令の計算基準による地盤面に設置する場合です。地盤面より高い場所に設置する場合はお問い合わせください。

※ご使用前に裏表紙の『注意』の項目をご覧ください。



※各規格の寸法、参考基礎寸法は下記の表を参照ください。
 ※詳細については別刷標準図集を参照ください。



AM-1940-SH(XNブラインド)



AM-1740-SH(XNブラインド)

アルミ目かくし遮音フェンス ALM型

製品
WEB
ページ



目かくし遮音フェンス

遮音パネルは制震効果のあるポリエチレンフォームを塗装溶融2%マグネシウム添加55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板で挟み込んだ3重構造で遮音効果の高いSGパネルをご用意しています。

門扉も製作できます。お問い合わせください。



目かくし遮音

カラー 柱・胴縁・縦枠 標準色

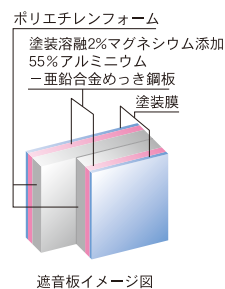


※表示の色は印刷のため、実際の色とは若干異なります。

パネル板 標準色



※表示の色は印刷のため、実際の色とは若干異なります。
※防汚・熱反射について従来材と比較した機能の向上を製品特長としてうたったものであり、機能(遮熱・防汚)を保证するものではありません。
※合金めっき鋼板の塗装色はアルミ製枠体のカラーとは一致しません。

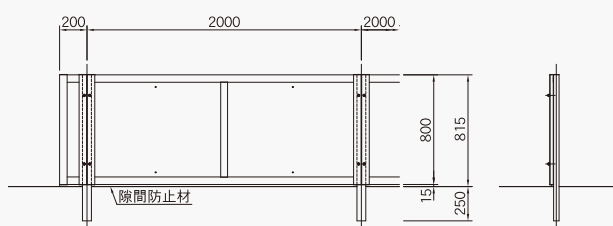


規格・寸法・参考基礎 (沖縄地区は除く。)

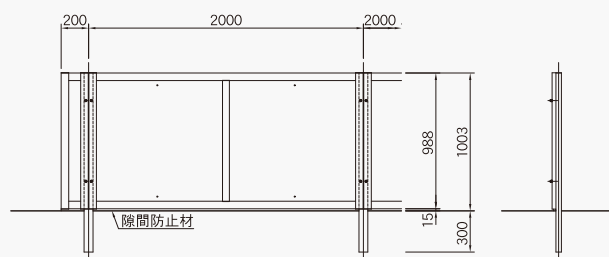
呼称	寸法	高さ (mm)	主 柱(mm)			パネル幅 (mm)	単位質量 (kg/m)	参考基礎寸法 (mm)
			規格	埋込	支柱間隔			
ALM- 800		815	65×40	250	2000	800	11.6	200×200×450
ALM-1000		1003	65×40	300	2000	988	13.3	250×250×500
ALM-1600		1619	90×65	350	2000	800+800	23.9	400×400×700
ALM-1800		1807	90×65	400	2000	988+800	25.8	400×400×750
ALM-2000		1995	90×65	400	2000	988+988	27.6	500×500×700

※地耐力98kN/m²[10t/m²](長期)の場合のコンクリート打ちの参考基礎寸法です。地耐力が異なる場合は弊社までご相談ください。
※上記基礎寸法は、昭和57年改正の建築基準法・同施行令の計算基準による地盤面に設置する場合です。地盤面より高い場所に設置する場合にはお問い合わせください。
※ご使用前に裏表紙の『注意』の項目をご覧ください。

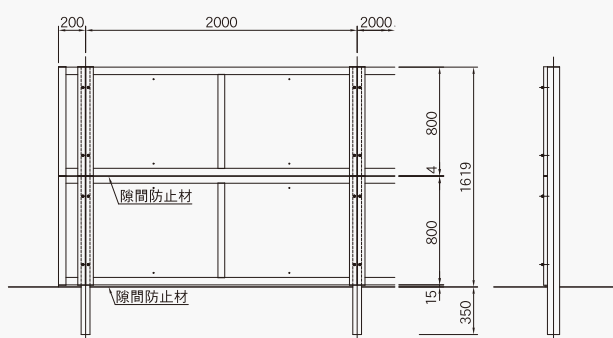
ALM-800



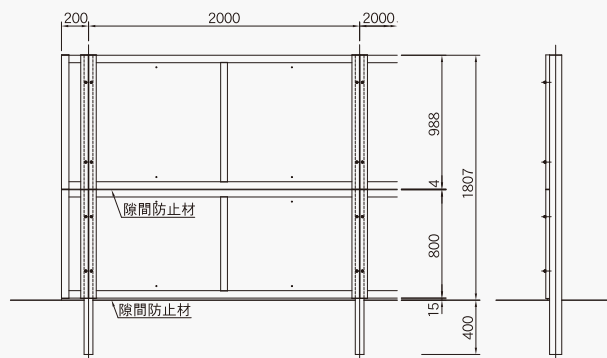
ALM-1000



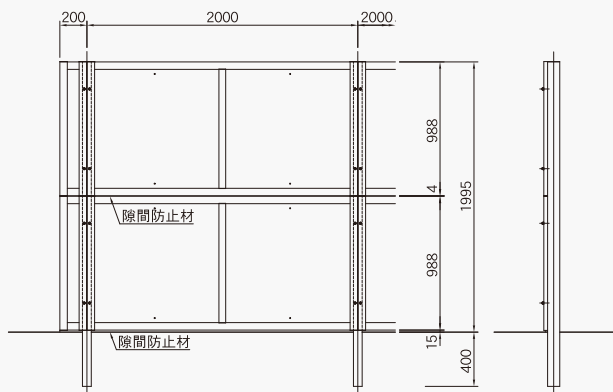
ALM-1600



ALM-1800



ALM-2000



※勾配は製作できません。
 ※端尺は現地加工です。
 ※2mをこえる長尺は製作できません。
 ※各規格の寸法、参考基礎寸法は下記の表を参照ください。
 ※コーナー部に独立基礎を設置する場合は、コーナー角度および基礎寸法により干渉することもありますので、お問い合わせください。
 ※詳細については別刷標準図集を参照ください。



ALM-1800(SGパネル)



ALM-1600(SGパネル)

注意

- 弊社の一般タイプのフェンス製品は、強度について配慮の上、設計・製造しておりますが、原則として平地での困障としての使用を目的とした製品です。この目的以外での使用は思わぬ事故につながる可能性があります。
- 屋上・高台・その他強風地域で使用しないでください。(必要に応じた強度検討を致しますので、弊社までご相談ください。)
- 当該製品は不燃材料ではありません。不燃材料の使用が必要な場所には使用しないでください。
- 積雪地域での使用の場合は、積雪の状況に応じた強度検討を致しますので、弊社までご相談ください。
- 手すり・ガードフェンス・転落防止柵・その他特別な強度を必要とする目的に使用する場合には、別途製品を用意しております。
- 使用環境により品質劣化が進みやすくなりますのでご注意ください。設置場所環境(公害・塩害・水害等)を調査の上、仕様を決定してください。
- 腐食性ガス・海水・砂塵にさらされるような環境では、短期間のうちに使用に耐えない状態になることがあります。
- フェンス柱地際部の処理はモルタル充てんを十分にし、基礎天端に水切り勾配を必ず付けてください。また基礎天端が土中に埋まる場合にはコンクリートで保護し水切り勾配を付けるか、弊社指定の亜鉛テープを巻いて土との接触がないようにしてください。地際部に水が溜まったり、柱が土と直接接触した状態では、めっきや塗装が早期に侵されます。(基礎天端が土中に埋まる場合には強度検討を致しますので弊社までご相談ください。)
- 当該製品は、フェンス柱の建込み時にはパネルの下部隙間が15mm以内になるように調整し、モルタル詰を行ってください。パネルの下部隙間が大きいと遮音効果は減少します。
- アルミ目かくし遮音フェンスについては、基礎用のモルタルには塩分を含む砂(海砂)・塩素系や強アルカリ性の凝固促進剤・減水促進剤・凍結防止剤等を使用しないでください。柱の腐食や製品の破損につながる恐れがあります。
- アルミ目かくし遮音フェンスについては、施工時にアルミ部材に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに除去してください。硬化後除去してアルミ表面にキズがつくと腐食しやすくなります。
- アルミ部材と異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には絶縁処理を施してください。
- 表面に付着した汚れを長期間放置しておくと、腐食の原因になることがありますので、定期的に水洗いとから拭きをするなどのお手入れをしてください。また、汚れの状況に応じて回数は増やしてください。
- お手入れの際には、布・スポンジ等の柔らかいものを使用し、金属製ブラシ・金べら等は使用しないでください。
- 弊社製品に関するご不明点の確認・ご相談等に関しましては、各地区の弊社営業担当者が対応させていただきます。何なりとお問い合わせください。

[製造品目]

U N フェンス	A R フェンス	F M フェンス	ピケットフェンス
エバニューフェンス	目かくしフェンス	遮音フェンス	P C フェンス
バックネット	防球窓枠フェンス	S・P防球フェンス	ガードパイプ
ガードフェンス	格子フェンス	カーस्टップ	メッシュトレリス
U N トレリス	チェーンフェンス	ガーデンフェンス	ゴミ・ステーション
手すり	積雪地用フェンス	ストーンガード	防風防雪柵
高らんパイプ	歩鋼板	門扉・引戸	鉄網設計製品

WIRE NET & FENCE



朝日スチール工業株式会社

お問い合わせ、ご相談は下記までお願いいたします。

本 社	☎(087)833-5151(代)	〒760-8529 高松市花園町1丁目2番29号
四 国 営 業 部 直 通	(第1課) ☎(087)835-8730 FAX(087)835-8720 (第2課) ☎(087)835-8700 FAX(087)835-8720	
中 国 営 業 部 直 通	(第1課) ☎(087)835-8820 FAX(087)835-8835 (第2課) ☎(087)835-8850 FAX(087)835-8835	
東 京 支 社	(第1営業部) ☎(03)3239-4815 FAX(03)3239-4720 (第2営業部) ☎(03)3239-4818 FAX(03)3239-4720 (第3営業部) ☎(03)3239-4840 FAX(03)3239-4460	〒102-0084 東京都千代田区二番町5-6(あいおいニッセイ同和損保二番町ビル)
大 阪 支 店	(第1営業部) ☎(06)6244-1910 FAX(06)6244-1911 (第2営業部) ☎(06)6244-1920 FAX(06)6244-1921 (第3営業部) ☎(06)6244-1950 FAX(06)6244-1951	〒541-0057 大阪市中央区北久宝寺町3-5-12(御堂筋本町アーバンビル)
九 州 支 店	(第1営業部) ☎(092)471-7621 FAX(092)471-7623 (第2営業部) ☎(092)471-7622 FAX(092)471-7624	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-3-1(日本生命博多南ビル)
名 古 屋 営 業 所	☎(052)932-3500 FAX(052)932-3510	〒461-0001 名古屋市東区泉2-27-14(関電不動産高岳ビル)
仙 台 営 業 所	☎(022)263-1790 FAX(022)263-1791	〒980-0021 仙台市青葉区中央3-2-1(青葉通プラザ)
工 場		多度津・西港・丸亀・高南・香東・坂出

<注記>製品の品質向上のため、予告なく製品仕様を一部変更する事があります。

2026.4